

午年のジンクスは如何に？

2014年2月13日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根幹雄

一月末から始まった日本株式市場の大きな下げは、12月の大幅アップ分を吹き飛ばしただけでなく、秋以降の回復分も帳消しにしてしまいました。

まさに昨年5月の再来のような相場ですが、昨年との大きな違いは日本発ではなく、海外にその原因があるということです。日本だけ見ていると今年の各証券会社の予想のとおりに強気になってしまいますが、「新興国不安の出現」、「テーパリングの継続」、「FRB議長交代」、「上昇が続いたアメリカ株の調整」という中、世界のお金がリスクから回避し、「円高」、「株安、債券高」へと逆回転したあおりを食った形です。残念ながら日本市場は未だに外国人投資家が取引の過半数を占めており、ヘッジファンドが暗躍しやすい市場になっています。これからの本格的な国内外の長期の投資家の本格参入に期待したいところです。

中国の金融市場は危うさを秘めているものの、日米の経済が好調、ヨーロッパも回復基調にあり、リーマンショックのような大きな危機は当面起こりそうもないでしょう。また、FRB議長交代も、テーパリングの継続の一方で、超低金利政策の継続の確認が行われたこと、また懸案の債務上限引き上げ問題も片がつきそうで、市場は次第に冷静に戻りつつあります。

ただ、今年は午年だけに？昨年以上に波乱が予想され、ファンドの投資成果の優劣が明確に出そうです。今後は株式投資も企業の選別がカギを握りそうなので、年初よりピックアップを得意とするファンドの登用をすすめています。例えば今回コドモファンドに組み入れることになったアトランティスの瀬田石 妙子さんも過去11年にわたって日本市場の苦難の時代を生き残った数少ないマネージャーの一人で、企業の選別のセンスは独特で素晴らしい方です。今後の活躍が期待されるファンドマネージャーです。

先月のレポートでご紹介した『本当に豊かなお金の活かし方』のテーマについて、第一弾は2月14日に東京のミキシム銀座で日本ブラインドサッカー協会理事長の釜本美佐子様をお招きしてセミナーを開催します。今年の11月にはなんと東京渋谷でブラインドサッカーの世界選手権が開かれます。セミナーに出席される方もされない方も是非応援よろしくをお願いいたします。

ファンド概況

基準価額	11,487円	純資産総額	605百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-3.22	3.60	9.85	25.86	33.29	14.87

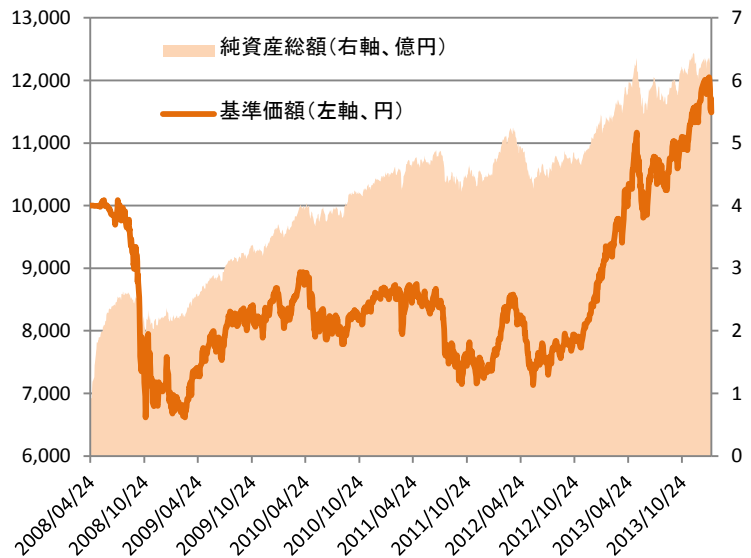
分配金(円)

直近3期を表示

3期 ('11/2/25)	4期 ('12/2/27)	5期 ('13/2/25)	累計
0	0	0	0



基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

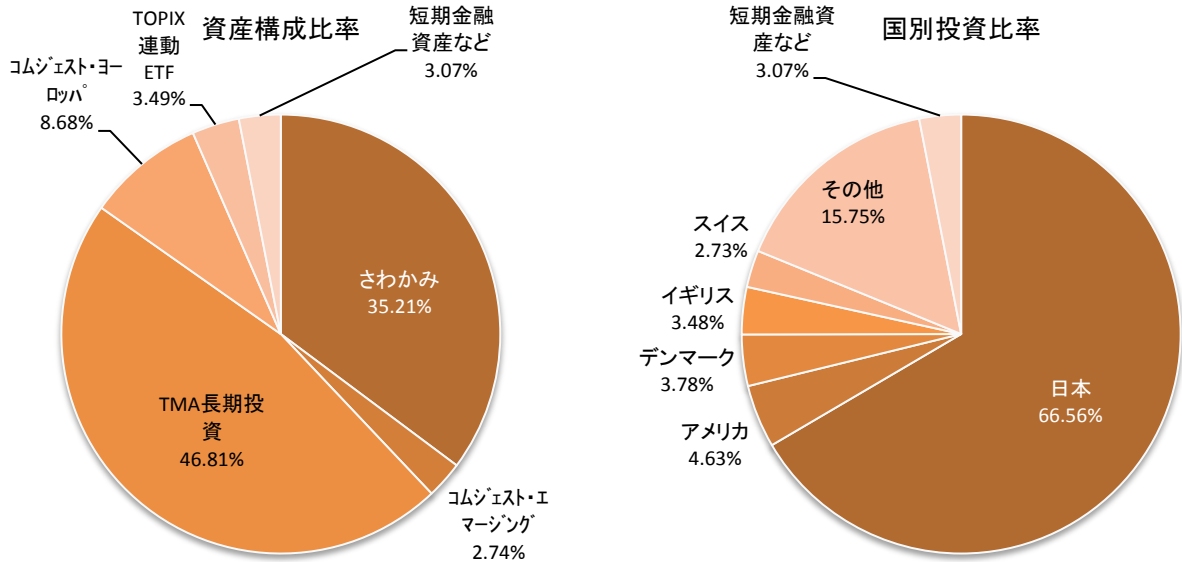
昨年12月に発表された米国金融緩和の縮小スケジュールが、新興国のリスクが表面化する中、今後も予定どおり実行に移されることとなり、新興国の通貨、経済に対する不安が拡大、世界の金融市場に大きく影響することとなりました。順調な回復を見せる先進国に対し、金融緩和マネーにより活性化していた新興国からの資金の引き上げ懸念が金融市場に大きな影響を与え、株価にとっては厳しい状況のヶ月でした。

こうした動きは、特に米金融緩和縮小の過程で今後も起こるでしょう。しかし、FRBは、自国経済の順調回復に金融政策の面から責任を持っているわけで、裏を返せば、予定どおりの金融緩和縮小自体は米経済の順調な回復への自信の表れととることができます。

世界的な金融不安の状況の中で、日本の株式市場も大きく調整しましたが、企業の12月決算は、業績も好調な会社が多いように思われ、実体経済の順調な回復が見えてきています。

こうした中、らくちんファンドも1月23日の設定来高値から、残念ながら大きく値を下げるようになりました。しかし、TMA長期投資ファンドの貢献で、ダメージは限定的であったと思っています。また、今後さらに、市場の動きに機敏に対応するためTOPIX連動ETF(1306)を、新たに組み入れました。米金融緩和縮小の過程で今後も起こる調整局面は絶好の買い場と考え、積極的に買い進めてゆく予定です。

ポートフォリオの状況



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数:230銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入比率	組入れファンド名
1	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	2.11%	TMA長期投資
2	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.86%	さわかみ
3	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.78%	TMA長期投資
4	SMC	空圧機器などを製造・販売(日本)	1.73%	TMA長期投資
5	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.64%	さわかみ
6	日揮	石油精製・天然ガス処理等のプラント製造	1.64%	TMA長期投資
7	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.59%	TMA長期投資
8	NOVOZYMES A/S-B SHARES	産業用酵素製品を供給(デンマーク)	1.54%	TMA長期投資
9	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.54%	TMA長期投資
10	シマノ	バイシクル、釣具、ボート等を製造	1.50%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え(現預金と組入れファンドの投資比率の変更)を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.945%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

【確定申告についてのご案内】

今年も確定申告の時期がやってきました。

昨年、弊社のファンドをご解約されたお客さまは、下記の表をご確認ください。

お取引口座	利益が発生したお客さま	損失が発生したお客さま
特定口座※ (源泉徴収あり)	原則、確定申告は 不要 です。 ただし、他の株式や投資信託の損失と損益通算される方は 必要 です。	下記の手続きをされる方は、 確定申告が 必要 です。 ・他の株式や投資信託の売却益、 配当、分配金と損益通算される方 ・損失を翌年に繰り越しされる方
特定口座※ (源泉徴収なし)	確定申告が 必要 です。	
一般口座	確定申告が 必要 です。	

※特定口座でご解約されたお客さまは、先月お送りした「特定口座年間取引報告書」が申告の際に必要となります。

* 申告期間は、平成26年2月17日(月)～平成26年3月17日(月)です。

* 詳しくは、国税庁、e-taxのホームページをご覧ください。最寄りの税務署までお問い合わせください。

【ご登録内容の変更について】

ご転居等によりご住所、ご連絡先が変更となった場合は、弊社への変更手続きが必要となります。

「登録事項変更届」を弊社ホームページまたはお電話でご請求いただき、必要事項をご記入のうえご返送ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

<ホームページの場合>

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

<お電話の場合>

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

ご不明な点等ございましたら、弊社業務管理部までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年3月	受付終了	2月20日(木)	3月5日(水)	3月17日(月)
平成26年4月	3月3日(月)	3月25日(火)	4月7日(月)	4月17日(木)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

ファンドご購入方法のご案内

クローバー・アセットマネジメント株式会社

このご案内は2013年4月3日以前に当社に口座開設されたお客様向けのものです。

今までお取引のないファンドを購入する場合→ご注文(購入連絡)が必要です

1

お振込

○既にお取引しているファンドが1つの場合
→今までと同じ口座にお振込ください。

○既にお取引しているファンドが2つ以上の場合
→今までと同じ口座のいずれかひとつにお振込ください。

2

ご注文(購入連絡)

○購入ファンド名と購入金額をお知らせください。

【お電話】03-3222-1220

または

【HP】<http://clover-am.co.jp> 「ファンドのご注文(購入)」をクリック

3

受付完了

！申込当日の15時までに「お振込」・「ご注文(購入連絡)」をお願いします。

！「ご注文(購入連絡)」がない場合は、全額、お振込先口座のファンドの購入となります。

！ご注文(購入連絡)内容の変更・取消しは、申込当日の15時までとなります。
※ご注文内容の変更・取消しは、お電話でのみ承ります。

4

購入(約定)

○受付完了日の翌々営業日の基準価額での購入(約定)となります。

○取引明細を記載した「取引報告書」を送付いたします。

既にお取引している1つのファンドを購入する場合

今までと同じ方法(購入代金の振込後、ご注文なし)でお取引いただけます。

複数のファンドをまとめて購入することも可能です

複数のファンドを同時に購入する場合は、お持ちの口座のいずれか1つにお振込ください。※振込手数料が1回分で済みます。

お振込後、ご注文(購入連絡)を必ずお願いいたします。

ファンドのご解約(換金)はお電話(03-3222-1220)でのみ承っております